

第2回 隊員向け研修会 地元の事例から考える“私の地域おこし”

今年度2回目の地域おこし協力隊向け研修会を8月4日(金)に開催しました。当日は気温36度の猛暑日となりましたが、計21名の地域おこし協力隊員、元隊員、市町村担当者にご参加いただき、無事、研修をとり行うことが出来ました。

「“地域おこし協力隊”というからには“地域おこし”をしたい、でも“地域おこし”って何?」、「“地域おこし”ってどうやったらいいの?」とお考えの隊員さんも多いことと思います。今回は、多田朋孔(ただ・ともよし)さん(特非・地域おこし代表理事)を講師にお招きして、現地視察、地域の方々からのお話も交えながら、地域を見る視点、自身の取組みを考える際のポイントを実践的に学びました。

会場は氷見市。氷見市と言えば、海のイメージが強いですが、まちなかから西に向かって20分も行くと、小高い山々に囲まれた素敵な里山地域に出ます。今回は、その地域から多くのワクワクする取組みを行ってられる論田・熊無地区、そして、移住者に人気の久目地区の皆さんにご協力をいただきました。

地域おこしには5段階のステップがあります。地域の状況に応じた「足し算」、「掛け算」の支援を考える必要があります。まず、そのポイントを多田さんの地元を事例に習いました。氷見市職員による地域と協力隊の説明の後には、地域セッション。午前は論田・熊無地区の皆さんに、午後は久目地区の皆さんに地域活性化の取組みの内容、取組みが始まった経緯などをお話いただきました。また、論田と熊無地区の各自治会長や久目地区地域づくり協議会事務局長にご案内いただきながら、地区内散策も行いました。最後のふりかえりでは、地域の情報に基づいて、それぞれの地域の取組みにおいて重要だったポイントなどをグループで分析をし、研修を終了しました。

長丁場の研修となりましたが、昼食には、地域の方々手作りの伝承料理(熊無)と草餅(論田)をご提供いただき、参加者の皆さんには、地域に伝わる伝統の味を地域の方々とともにしながらお楽しみいただきました。

今回の研修から持ち帰ったものをこれからの取組みの中で活かしていただけたいと思います。地域の皆さま方、そして、司会を務めていただきました南砺市地域おこし協力隊の越後佑子(えちご・ゆうこ)さん、多大なるご協力をいただき有難うございました。



講師によるオリエンテーション (於 論田公民館)



「論田・熊無地区を知る」



「久目地区を知る」



「地域の方々さらに聞く」



「お休み処くまなし」にて



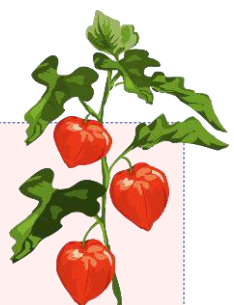
伝承料理と草餅をいただきながら (於 熊無集会所)

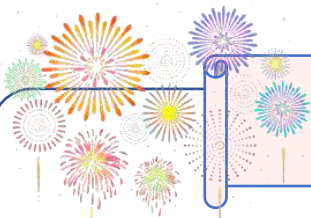
グループワークの発表
(於 久目地区交流館)

参加者からの声

研修終了後のアンケートでは、地域を巡り、現地を見て、地域の方々の声が聴ける研修は良いといったご意見を多くいただきました。また、地域の発展段階に応じた取組みの仕方があることを知り、地域おこしのプロセスが理解できたことで、今回の研修の成果を自身の取組みにも活用できるといったお声もいただきました。

今後、こんな研修もあったらいい、こんな研修だったら活動に活かせるといったご意見がありましたら、本「かわら版」末尾の連絡先までぜひお寄せください。





隊員のWA！ 隊員ご紹介コーナー

磯村咲智子さん(元南砺市地域おこし協力隊)

今回は、先月末まで南砺市地域おこし協力隊であった磯村咲智子(いそむら・さちこ)さんにご登場いただきます。磯村さん自ら、自身の活動を振り返り、語っていただきました。



磯村咲智子さん

私は愛知県西尾市出身です。利賀に来て今年の7月に丸3年になりました。利賀での1年目はまず利賀や南砺の自然のスケールの大きさに圧倒されました。自分の家に入ってくるカメムシの量、壁のように積もる雪の量、所属先での畑仕事のきつさ、そういうものに、途方のなさも感じましたが、ここの人たちは凄いな。ここで生きていって、皆さんのようにたくましくなりたいと思いました。利賀での生活は、きついながらも気持ちは楽しく乗り切ることができたと思います。

協力隊としての私の所属先は利賀ファームという村内の農地を請け負って稲作や畑作をする団体でした。利賀ファームを所属先として働いて本当に良かったと思っています。軽トラックに乗れるようになったことで現場に行ける事も増えていって、ビニールハウスづくり、田植えの苗運び、かぼちゃやにんにくの定植から世話や、稲の防除、電気柵の設置、ライスセンターでの刈り取り後の米の受け入れ作業、そば刈りの手元など、色々な事をさせていただきました。

他にも利賀の民謡、青年団の活動、村内で声の掛かった行事や、山村留学などたくさんの事に関わりました。私は広く浅くですが、その都度皆さんの色々な思いなどに触れて、刺激をもらってきました。そのおかげで他の事に対しても、できないなりにやってみようという気持ちになり3年間頑張れたのだと思っています。

先月末で協力隊からは退任しました。これからは個人としての自分の生活を整えていこうと思います。一年一年周りの状況も変わりますが、利賀ファームをメインに置いて、他の仕事で補いながら生活もできるように持っていけたらと考えています。利賀の人や自然の刺激をもらっていつか創作するような事も、できたらいいなと思っていますが、きっとまだ何年も先でしょう。それが何なのかは自分でもわかりませんが、それができるようにこれからも利賀でがんばります。



作業中の磯村さん

磯村さんが定住先に決めた利賀は自然も豊かで、おそばに、演劇と有名なものも多いところ。まだ利賀へ行ったことがないというあなた、ぜひ一度、利賀をお訪ねください！

「自治体担当者が隊員さんをご紹介！」の新コーナー

初回は **朝日町さん** です！

朝日町地域おこし協力隊は、農業・漁業・公共交通・DXといった多様な分野で活躍し、個々のスキルを活かしながら、“まちづくり”に取り組んでいます。それぞれのミッションは異なりますが、この「朝日町」を着任地に選び、日々活動を通じて地域を“おこしてくれる”隊員さん。そんな朝日町地域おこし協力隊を今後とも、どうぞよろしくお願ひいたします！（新たな隊員の募集も随時行っています！）（大澤愛さん(朝日町役場 住民・子ども課)）



上段左から高城優さん、佐藤皓亮さん
下段左から相原伸江さん、梅澤五月さん、
松崎祐子さん（農業研修）



後藤憲一郎さん 松本あまねさん
(デジタル推進) (公共交通)

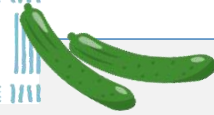


元超大智さん
(水産業振興)





ちよっこしお邪魔します！



小矢部市隊員の西岡恵一（にしおか・けいいち）さんが主催する「癒しの集い」にお邪魔しました。

西岡さんは小矢部市の移住コンシェルジュとして活躍中。8月6日（日）に行われた「癒しの集い」は今回で第3回を迎える移住者向けの交流会です。午前の部は夏野菜収穫体験、午後の部はボードゲームと、とても魅力的なプログラムが用意されていました。

私たちは午前の部にお邪魔。5世帯13人の移住者の方々が参加し、ツヤツヤな白ナスやパプリカ、大きなズッキーニなどを一緒に収穫しました。子どもたちが楽しそうに野菜を抱えていたのが印象的でした。収穫の後は、甘いスイカを食べながら「小矢部に来てよかったこと」、「困っていること」、「まちのおすすめスポット」などについて楽しくおしゃべり。夏らしく、そして、心がほっこりするイベントでした。

移住者同士の交流機会を作ることで、輪が広がり、それが安心に繋がり、ひいては、小矢部に来た人が小矢部にずっと住み続ける。西岡さんは、自身も移住者であることから、移住者目線も取り入れたイベントを企画するようこころがけているとのこと。

小矢部市では新たに2人の隊員が加わりました。3人の隊員さんのパワーで小矢部市がますます元気になるような気がします！西岡さん、お邪魔しました！



夏野菜収穫体験のひとコマ



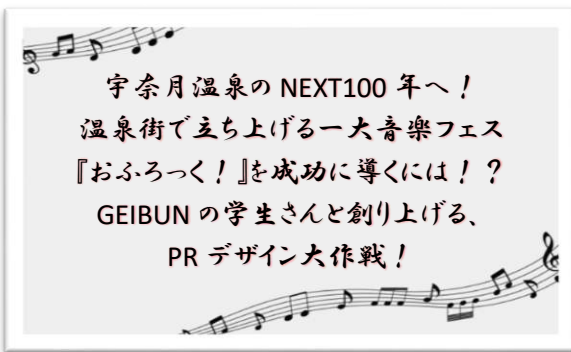
参加者と全体写真

今年度の事業プラン認定！

クラウドファンディング型
ふるさと納税を活用した起業支援

県では5月から、地域おこし協力隊員や元隊員に対し、クラウドファンディング型ふるさと納税を活用することで隊員の資金調達を支援するため、対象となる事業プランの募集を行いました。

この7月に審査認定委員会を開催し、黒部市地域おこし協力隊、鈴木杏奈（すずき・あんな）さんの以下の事業プランを認定しました。



鈴木さんには、これから年末にかけて寄附募集HPの作成や寄附金募集へのPR活動を行っていただきますが、県も鈴木さんの目標額達成に向けて全力でサポートしてまいります！

「つながるカフェ」今後の予定

●●第2回「つながるカフェ」●●

テーマ：「富山の隠れた宝探し～古き良きものを体感する時間を過ごしてみませんか～」

日時：9月15日（金）午前10時～午後4時
場所：高岡市、砺波市、南砺市

「水と匠」さんにご協力をいただき、高岡市の進化するモノづくりを知り、砺波市の散居村でいただく地物の食を味わい、南砺市善徳寺の民藝を体現する空間を楽しみます。参加締切りは8月25日（金）。ご関心のある方、お急ぎください。

●●●第3回「つながるカフェ」●●●

テーマ：「とやまのレトロ地域再発見～まちの賑わいづくりを考える～」

日時：11月2日（木）午後1時～5時
場所：滑川市瀬羽町

観光、賑わいづくり、空き家・空き店舗活用、カフェ・ゲストハウス開設、情報発信に関心のある隊員さん向け。滑川市瀬羽町の皆さん方にご協力をいただき、レトロ地区のまち歩きとともに、皆さんの取組みを伺います。元黒部市隊員の小澤泰史さん、射水市隊員の齋藤まゆ美さんもゲスト参加。ご案内は、9月中旬を予定しています。

着任・退任情報(令和5年6月1日～7月31日) (敬称略)

<<着任>>

梶内昌史（かじうち・まさし）
元起大智（もとき・だいち）
相原伸江（あいはら・のぶえ）

小矢部市 農業・情報発信
朝日町 水産業振興
朝日町 農業研修生

<<退任>>

丹羽貴行（にわ・たかゆき）
磯村咲智子（いそむら・さちこ）
魚津市 空き店舗対策・利活用
南砺市 利賀地域担当

<隊員が見つけた富山の魅力フォト>

「天空のひまわり畑」
撮影場所：黒部市前沢地区

写真提供：
黒部市地域おこし協力隊
鈴木杏奈（すずき・あんな）さん



黒部では農業団体さんによる、“黒部ファーストペンギンプロジェクト”がはじまりました。休耕田を活用し、ひまわりを植えようという活動で、今年は9ヘクタールもの範囲でひまわりが元気に咲いています！ここからはひまわり越しに、まち、海、そして能登半島まで見渡せます。海と山が近い、黒部ならではの、天空のひまわり畑だと思います。

ちっこしお邪魔します！ なんと第2弾

氷見市隊員の桑折現（こおり・げん）さんは俳優・演出家です。その桑折さんの朗読で物語を味わう「お茶会」にお邪魔しました。

このお茶会は、会場である「フルーツ&パーフルエ」のオーナー・林さんが主催。お店は、氷見市中央町の商店街にある昭和レトロなビルの2階にあります。

そして、選ばれた物語はサン=テグジュペリの『星の王子さま』。お邪魔した7月22日（日）は、全6回シリーズの5回めで、遅まきながら、ちゃんと（🍷）アーカイブを聴いて参加しました！

週末に、朗読を聞きながら、ゆったりと朝を過ごす。なんて贅沢なひととき・・・。文字で物語を楽しむのも良いけれど、音を通じて楽しむのは、またひと味違います。桑折さんの朗読とともに物語の世界が広がる気がしました。

上庄川を見下ろすレトロなお店の雰囲気もよし、お茶とデザートも美味しかったです。

桑折さん、そして、お店のオーナー・林さん、お邪魔しました！



桑折さん
会場のカフェにて



お隣の素敵なバラはお話の中から。
アーティストの奥さま 木藤純子さん作！

ちっこしお邪魔します！ そして第3弾

6月25日（日）に開催の「上市オーガニックマーケット」にお邪魔しました。上市町隊員の有吉直弘（ありよし・なおひろ）さんが、有機農業を上市町から発信すること、食をメインにした賑わいの場づくりを目指して、お仲間と開催したものです。

参道を吹き抜けるさわやかな風と木漏れ日に癒されながら5分も歩くと会場の眼目山立山寺境内に到着、既に大勢のお客さんが買い物、イベントを楽しんでいました。

出店も、お米に野菜、おにぎり、さらにたこ焼き、お好み焼き、焼き菓子とよりどりみどり。筆者もアントシアニンたっぷりの紫ジャガイモに、有機栽培のたまねぎ、にんにくを購入しました。まさしくオーガニックマーケット！

暑い日でしたが、アロマのミスト・シャワーが嬉しかったです。

次回は晩秋の11月12日（日）丸山総合公園で開催とのこと。ぜひお出かけください。

有吉さん、お邪魔しました！

Instagram



鬼剣舞も大人気



有吉さん
マーケット会場にて



令和5年度「つながるカフェ」新装開店 ♪

今年度、「つながるカフェ」はテーマを設定し、隊員の皆さんと同じ分野、関連ある分野で取組みを行っている県内の方々をお招きし「つながる」こと、そして、隊員同士の交流を深めることを目的に開催しています。

その栄えある1回目は「とやまの豊かな自然を活かす！取組みを知る、実践者と繋がる」と題し、農林業、食、環境、商品開発分野で活動中の隊員さんを中心に、富山市山田にあるとやま暮らし体験館「木楽」をメイン会場に行いました。

ゲストは麓絵里（ふもと・えり）さん（(株) Agumogu 代表取締役）、西田俊和（にしだ・としかず）さん（同取締役）、そして富田和美（とみた・かずみ）さん（前田薬品工業（株）新領域創造事業本部グループマネージャー/セラピスト/ナチュラルセルフケアコーディネーター）です。麓さん、西田さんは、東京から移住し富山市の道島地域を中心に自然栽培でコシヒカリや古代米などを作っておられます。今年は、さらに福鶴酒造さんとコラボし、雄山錦のお酒「福むすび」を作り発売開始。富田さんは、あのヘルシアンウッドで、スパ施設、アロマ工房、オリジナルブランド「Taroma」のマネージメント業務に従事しておられます。

ゲストの皆さんには、移住の経緯、地域の方々との関係、取組みについてお伺いしました。驚いたのは、Agumoguさんは特に商品PRをしていないということ。口コミでAgumoguさんのお米、商品を買いたいという人がやってくるそう（Agumoguさんのお米を食べると美味しく、他のお米が食べられないとは筆者の友人の声です）。

富田さんは、昨年末に富山に移住されたばかり。富山でのお仕事に加え、これまで携わってきた数々のスキンケア商品のお話も伺いました。「明日わたしは柿の木にのぼる」はブランド名。なんて面白いネーミング。ついでながら、その日の疲れ具合で良いと思う香りは変わるとのこと。「ゆず」のあなたはまだ元気、でも、「ひのき」に癒されているあなたはお疲れ気味。ちなみに、「ラベンダー」はその中間。ぜひお試しください。



当日の風景（木楽にて）

上記メインイベントの前には、音川加工場、山田の案山子にお邪魔をさせていただきました。音川加工場では、田中美智留さん、谷井さよ子さんにご説明をいただき、皆さん、お仕事中的ところ、中を視察させていただきました。また、山田の案山子では、若林秀美理事長からお話をお伺いするとともに、直売所もご案内いただきました。昼食は、人気のお蕎麦屋さん「おんもり庵」で。山田の美味しいお蕎麦を堪能しました。

司会の上市町隊員・有吉直弘さん、山田の案山子においで富山市隊員・井上俊明さん、ご協力有難うございました。



当日、「つながる」タイムが短くなるなど、参加者の皆さん、ゲストの方々にはご迷惑をおかけしました。運営の改善努力をしていきますので「つながるカフェ」を引き続きご愛顧ください！

ゲストからご感想:

麓絵里さん、西田俊和さん



隊員の皆さんには、自分のやりたいことに向かって、今できることを小さなことでも良いので1つずつ実践してほしいと思います。やりたいことが本気であれば、周りから応援してもらえるはず。中途半端だと、なかなか難しいと思います。3年という期間に縛られず、やりたいことを貫いてほしいです。

つながるカフェでは、隊員の方たちの移住の目的や現在やっていることの進捗状況などを話す時間がもう少しあったら良かったです。なぜ数ある地域の中から富山を選んだのか、隊員の期間が終わったらどのようなライフスタイルを送りたいのかなど、皆さんの思いをもっと聞いてみたかったです。

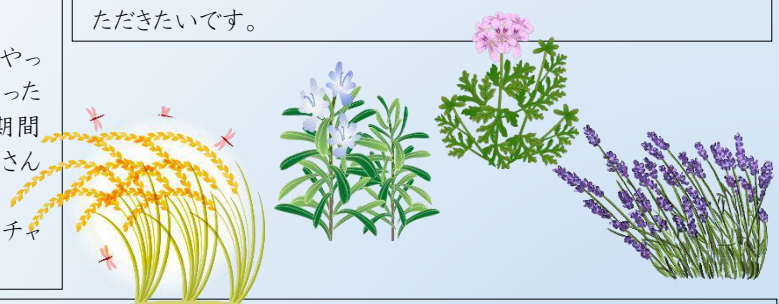
AGUMOGUは、今後も地域の方々と共にワクワクすることにチャレンジしていきます。

ゲストからご感想: 富田和美さん



自分自身も移住者ですが、今回のようにたくさんの移住者の方々と触れ合う機会がなかったため、各地で活躍する皆さんのお話が伺えて、とても有意義な時間でした。

富山には恵まれた地理環境と豊かな自然環境があり、文化的な面からも宝物に溢れた土地柄です。移住者だからこそその新鮮な目でどんどん富山の魅力を発掘して活動に生かしていただきたいです。



参加者からひとこと

●「移住してきた方々の、その土地の魅力をお話されている姿と、地域の方の地元を守っていきたくてお話される姿がとても印象的で、その思いが混じりあってさらなる魅力を生み出していることが体感できるいい機会でした。移住者、地元民双方の思いが大切だと改めて思う一日でした。」(氷見市地域おこし協力隊 菅澤康平さん)

●「興味深いテーマが多く、参加させていただいてます！視察やワークショップに加えて、OBOGの方々のお話も聴けたり、他の地域の協力隊の方たちとも交流が出来て、名前の通り「つながる」場になっているのがよいと思います。」(立山町地域おこし協力隊 鈴木由香里さん)

アイデアの実現に向けて ～最初の一步を応援する取り組みご紹介～

新しい取り組みを始めてみたい、やりたいことはあるけれど応援してくれる仲間がいたら等々、最初の一步がなかなか踏み出せないことはありませんか？最初の一步を応援する県内の3つの取り組みをご紹介。あなたがお住いの場所ではないかもしれないけれど、どんな取り組みなのかを見てみよう。まずは一度、定例会に参加してみたいかが。

集まりのおおまかな流れは、

- ① 地域を盛り上げたい思いを持つプレゼンターが応援してほしいプロジェクトについてプレゼン、
- ② 参加者はブレインストーミングに参加して、短時間にたくさんのアイデアを出して応援、そして
- ③ プレゼンターは、そのアイデアの中から、最初の一步を選び、関わってくれるメンバーを改めて募ります。



タカボケ HP



タカボケ Facebook



高岡をもっと盛り上げようという仲間が集まり、誰かの夢を、みんなのアイデアとマンパワーで応援する。そんな集まり、高岡 4 次元ポケット「**タカボケ**」があります。

大事なのは「ぜんぶジブンゴト」として、誰かの夢にコミットすること。2 か月に 1 度行われる定例会に手をあげると、みんなが頭をフル回転させて、アイデアを山のように出してくれます。

タカボケの基となっているのは、神奈川県鎌倉市で行われていた町の活性化の取り組み「カマコン」。2015 年に、カマコンが高岡市で開かれ、そこからタカボケの活動がスタートしたということ。

定例会のあとは、それぞれがキックオフミーティングからプロジェクトを始動させていきます。

次回の定例会は 8 月 23 日（水）午後 7 時～、その後は 10 月です。



ひみんぐる

ひみんぐる Facebook



「**ひみんぐる**」とは「氷見」＋「mingle（交わる・混ざる）」でひみんぐる。氷見を盛り上げたい、氷見で新しいことに挑戦したいという人を応援します。

最初の集まりは、2022 年 11 月に氷見市伊勢大町にある「コミュニティ・スペースひみりべ。」を会場として行われました。

ひみんぐるの特徴は、高校生や大学生など若者の参加者が多いこと。最初のプレゼンターは、氷見高生に、富大生、塾の先生でした。若者を応援したい、若者のアイデアがほしい方、ひみんぐるに参加してみたいはどうでしょう。

氷見市地域おこし協力隊の比屋根秀斗（ひやね・ひでと）さん、桑折現（こおり・げん）さん、河原朱里（かわはら・あかり）さんも、ひみんぐる実行委員会のメンバーです。会場に行くと、他にも現役、元隊員の面々もいるかも。

今回は決まり次第、左のサイトで案内します。



ひみくるスイッチ Facebook



氷見のもうひとつの集まり、「**ひみくるスイッチ**」が先月始まりました。高校生や大学生も集まった上記の「ひみんぐる」に触発され、大人もやりたいと声が上がったことから、ひみくるスイッチが始まったとか。

氷見でやりたいことがあるチャレンジャーをみんなでも応援。こちらにも氷見市の元協力隊メンバーが発起人として関わっています（澤田典久（さわだ・のりひさ）さん）。また、初回定例会のプレゼンターのひとは氷見市の元隊員さん（野元希恵（ののもと・きえ）さん）でした。

参加者からの前向きなアイデアの数々に会場の盛り上がりも最高です！いくつかアイデアを出せるか、あなたも一度、挑戦してみたいは？

ひみくるスイッチは、原則氷見市で何かを始めたい、何かに挑戦したい人たちを応援する場ですが、市外の方でも内容によっては発表可能なので一度ご相談くださいとのこと。場合によっては、出張で開催も可能ということで、あなたの町でもアイデア出し会はいかが？

次回定例会は、9 月 21 日（水）午後 7 時開始予定です。既に参加者募集中です。



お知らせコーナー



比屋根秀斗（ひやね・ひでと）さん企画・演出
（氷見市地域おこし協力隊）

氷見を題材にした氷見ならではのオリジナル音楽劇。
「イヤサー！～舞いつなげ、氷見のこえ～」の幕がもうすぐ上がります。

比屋根さんは、文化・芸術活動コーディネーターとして着任し、約1年前から舞台づくりを開始したとのこと。演出、脚本、そして子どもたちの指導も行いました。

上演の詳細は以下の通り。

日時：2023年8月26日（土）
午後3時～
場所：氷見市芸術文化館
料金：おとな 1,000円
高校生以下 500円



イベント案内はこちら ⇒



齋藤まゆ美（さいとう・まゆみ）さん主催イベント
（射水市地域おこし協力隊）

「東橋商店街」が、6月に引き続き3回目の開店です。
射水市八幡町の屋根付きの赤い橋がその場所。

日時：2023年8月26日午前11時～午後3時
場所：東橋（射水市八幡町1-20-15）
雨天の場合、法土寺公民館（射水市立町14-17）

今回参加のお店は、marufarm（自然栽培の野菜販売）、百笑やっさん（新鮮野菜販売）、まいのや（有機にんにく、ジェラート販売）、sino.a.Bagle（無添加ベーグル）、かんのくるま（コーヒー移動販売）など。もちろん齋藤さんのお店「AIヲ」（服、布雑貨）も出店。

Instagram ⇒



齋藤さんの服・布雑貨のお店がこの秋オープン予定です。ピストロも併設。楽しみです！

菅澤康平（すがさわ・こうへい）さん主催イベント
（氷見市地域おこし協力隊）

「氷見自然栽培マルシェ」の日程が決まりました！
学校給食に自然栽培の作物を！という想いで発足した「ひみオーガニック給食プロジェクト」によるイベントです。

イベントの詳細は、以下の通り。
日時：2023年12月16日（土）
場所：氷見市芸術文化館（氷見市幸町31-9）

内容は、奇跡のリンゴを生み出した木村秋則氏による講演会、食育に関する映画上映会、マルシェの3本立てです。ご関心のある方は、ぜひカレンダーに印を！



Facebook



Instagram



井上俊明（いのうえ・としあき）さん配属先イベント
（富山市地域おこし協力隊）

山田の案山子で「第3回感謝祭」が開催されます。

新鮮な野菜に、農産物の加工品。常連さんも多い、見逃せないイベントです。

詳細は以下の通りです。
日時：2023年9月24日（日）
場所：山田の案山子（富山市山田小島2600）

直売所に加え、人気の蕎麦屋「おんもり庵」も営業中。
是非ご来店ください。



HP



Instagram



■ 編集後記 ■

第3号では、隊員の皆さん向けお役立ち情報を掲載しました。他にも、こんな情報があればいいのにとすることがあれば、ぜひお聞かせください。役立つニュースレターを目指しています。次号は10月に発行予定です。皆さんの投稿・ご意見をお待ちしています。(M)

■ お問い合わせ・ご連絡先 ■

富山県 中山間地域対策課（担当：蟹澤、三上）
〒930-8501 富山市新総曲輪1番7号
TEL：076-444-9605 EMAIL：achusankan@pref.toyama.lg.jp

HPへはこちらからお入りください ⇒

